

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：2/25～3/1

・ 2/25(月)

沖縄の県民投票、米朝首脳会談に向けて、不正統計問題、日露関係などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ不正統計問題については他の放送日との比較が必要と考えられるものでした。なお、沖縄の県民投票については検証者の書簡を記しました。

・ 2/26(火)

米朝首脳会談、即位 30 年の茶会、地震調査委員会が東北地方太平洋沖の地震発生確率を新たに公表、イギリスの EU 離脱問題、警視庁一課が Twitter アカウントを開設などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。

・ 2/27(水)

米朝首脳会談、不正統計問題、自民離党の田畑議員が議員辞職願、インドとパキスタン間で緊張高まるなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ

・ 2/28(木)

米朝会談、トランプ大統領元顧問弁護士が証言、統計不正問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ米朝会談、トランプ大統領元顧問弁護士が証言については放送法上問題が見られました。

・ 3/1(金)

米朝首脳会談、沖縄県民投票、三一独立運動の記念式典に 1 万 5000 人、来年度予算案衆院通過へ、貿易交渉巡り USTR が期限延長を正式発表、脱北者支援団体が臨時政府発足を発表などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ沖縄県民投票については放送法上問題が見られました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年2月25日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：沖縄の県民投票、米朝首脳会談に向けて、不正統計問題、日露関係		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渋谷区の児童養護施設の元入居者が施設長を刺殺し死亡 ・ 沖縄県の県民投票 ・ 米朝首脳会談に向けて ・ アカデミー賞授賞式 ・ 不正統計問題 ・ 野田市小4 女児死亡で父親に続き母親も再逮捕 ・ 日露関係 ・ スポーツ報道 ・ 23Today <p>渋谷区の児童養護施設の元入居者が施設長を刺殺し死亡 沖縄県の県民投票 JR 中央線・総武線で4時間運休 女性遺体を山中に遺棄の疑いで風俗店員の女性二人を逮捕 広島県呉市でダンプカーにはねられた男性二人が死亡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄の県民投票 <p>沖縄県民投票について報じられた。VTRでは以下に朱記したように取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「辺野古の埋め立てに示された反対の民意、安倍総理は今朝。」</p> <p>安倍総理「今回の県民投票の結果を真摯に受け止め、これからも基地負担軽減に向けて全力で取り組んでいきたいと思います。」"</p> <p>ナレ「結果を真摯に受け止める、と話した総理。」</p> <p>"ナレ「その辺野古では。」</p> <p>報告「県民投票では多くの反対票が投じられましたが、今日も工事は進められています。」</p> <p>ナレ「県民投票は普天間基地移設に伴う辺野古埋め立ての賛否を問い、賛成、反対、どちらでもない、の三択で行われました。」"</p> <p>報告「那覇市の投票所です、間もなく投票締切なんです、駆け込みでいらっしゃる方もいますね。」</p> <p>ナレ「投票率はおおよそ52%、結果は反対72%、賛成19%、どちらでもないが9%足らずでした。自治体別では普天間基地のある宜野湾市では反対が67%、辺野古がある名護市では73%でした。反対が投票資格者の四分の一に</p>		

達したため、玉城知事は結果を総理大臣とアメリカ大統領に通知することになります。」

玉城知事「政府は沖縄県民の変この埋め立てを決して認めないという断固たる民意を真正面から受け止め、辺野古が唯一というこれまでの方針を直ちに見直し、工事を中止するとともに普天間飛行場の一日も早い閉鎖返還という根本的な問題解決に向けこれまで再三求めてきた県との対話に応じるように強く求めて参ります。」

ナレ「沖縄県民は、」

宜野湾市民 A (反対に投票)「私も毎日オスプレイを見ているから嫌だけど、それをまたよそに持っていくというのはもっと嫌だし新しものをつくるっていうのがもっと嫌なので、絶対反対。」

宜野湾市民 B(反対に投票)「私達が暮らす沖縄なので、自分たちの土地を自分たちのために利用できるようにした方がいいなと思います。」

インタビュアー「辺野古で毎日のように工事が続いている現状をご覧になってどういうふうに思われますか。」

那覇市の高校生 (反対に投票)「いや、工事は本当に止めてもらって、ちゃんと県民の意見を聞いてもらってそこも大事にしてほしいと思います。」 "

"那覇市民 (賛成に投票)「自分は賛成の方に丸をつけました。」

インタビュアー「それはどうしてなんですか。」

那覇市民「新しく今までと変わることが、まあ沖縄にとっても一つ大切なポイントになるのかなというところで。」 "

ナレ「国会では」

"枝野幸男 (立憲民主党代表)「沖縄の県民の皆さんこそが普天間の危険性誰よりもわかっているみなさんじゃないですか、辺野古の基地建設にこれだけの明確な NO を突きつけたということについて、見解をお答えください。」

安倍総理「世界で最も危険と言われる普天間飛行場が固定化され危険なまま置き去りにされることは絶対に避けなければならない、もはや先送りは許されないというのが政府の考え方でございます。」 "

ナレ「安倍総理はあくまで移設工事を進める考えを示しました。」

"ナレ「署名活動を始めた辺野古県民投票の会代表の元山仁士郎さんは国の姿勢をこう批判します。」

元山仁士郎 (辺野古県民投票の会代表)「この国は本当に民主主義国家なのかどうか、一人ひとりが主権者であって、私達の意思が何よりも重んじられるべきことであるにもかかわらず、なぜ県民投票で反対だという結果が出て、工事を進めるのか全く理解できません。」 "

ナレ「玉城知事は週内にも上京し安倍総理に直接訴える方針です。」

ナレ「反対多数の民意に政府がどう対応するのか注目されます。」

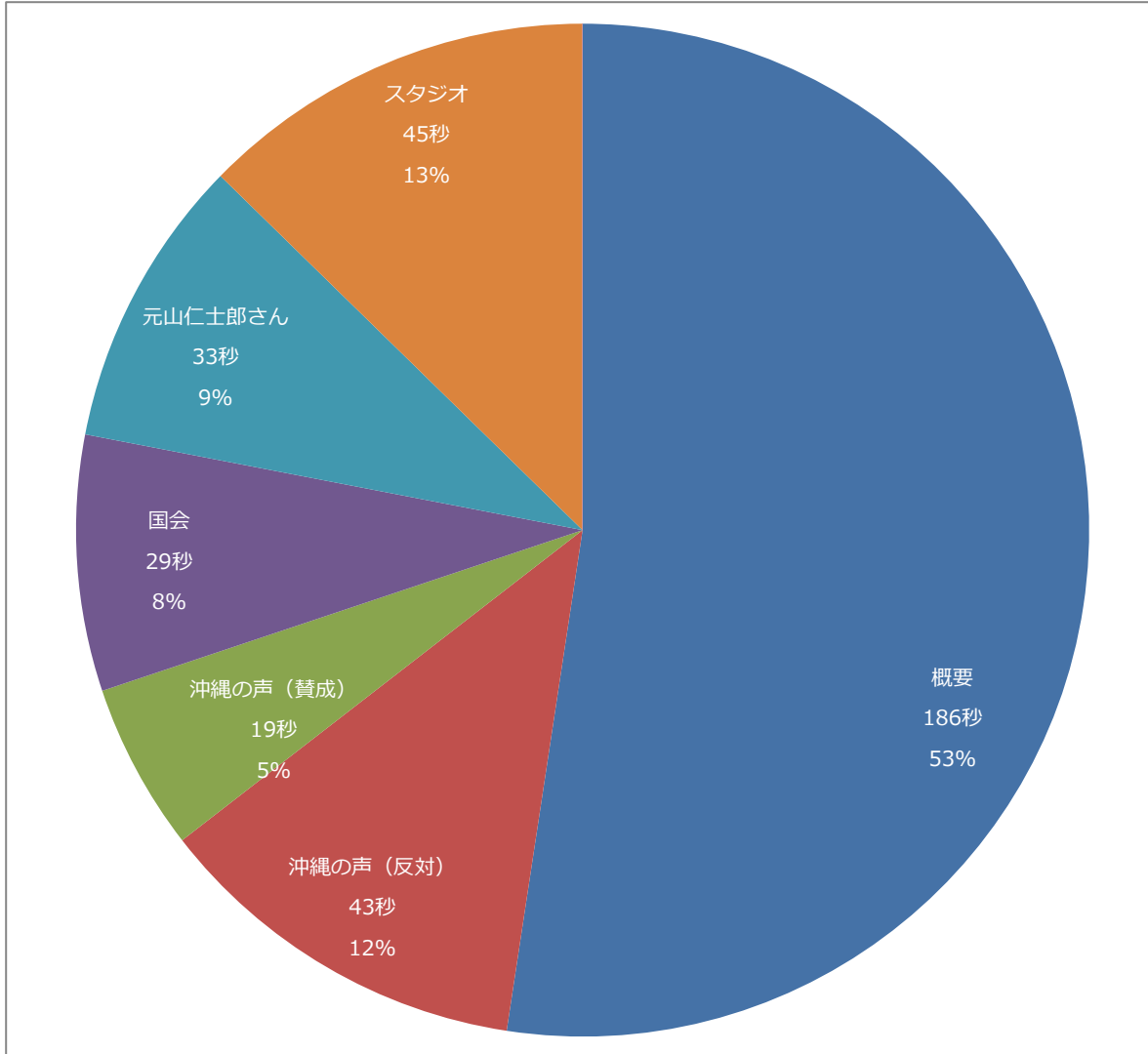
VTR を承けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられていた。

駒田健吾「昨日の沖縄は大降りの雨でした、その中を手押し車を押しながらやってくる 90 代の女性がいたりクラスで話し合っ一人ひとりの答えを持って投票しに来た高校生がいたり、ひとりひとりの思いがこもった 60 万票、合計 60 万票なんですね、で賛成に投じた方、どちらでもないに投じた方も含めて共通して皆さんおっしゃるのは政府がどこまで真剣に真面目に受け止めてくれるか、この一言でした。」

星浩「一つの県の人たちがこれほど安全保障とか基地のあり方を真剣に考えた例というのはないと思うんですね。政府がどう受け止めるかですけれども、やはりっこは一つ工事を中断してですね、安全保障環境も変わっていますからね、胸襟を開いて話し合いをするべきだと思いますね。」

NEWS23 週刊報告 詳細版

このトピックについて当てられた時間は 355 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



沖縄の声は反対のものを拾ったものが優勢であったが、投票結果自体が反対が 7 割であったため、拾う声の比率としては妥当なものと考えられる。

・米朝首脳会談に向けて：結論→特に問題なし

米朝首脳会談について皆川キャスターの「トランプ大統領との二回目の首脳会談に望むため、今頃開催地ベトナムに向けて列車で移動している模様の金正恩党委員長、そしてこちらをご覧ください、これは一項を迎えるベトナム側の線路ですがこのようにレールが 2 本ではなく 3 本あるんですね。およそ半世紀前からこうなっているようなんですが、一体なぜなのでしょう。」というスタジオでの導入を承けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「レッドカーペットをさっそうと歩く北朝鮮の金正恩党委員長。」

朝鮮中央労働テレビ「金正恩同士が第二次朝米首脳会談のために平壤を出発なさいました。」

ナレ「おととい午後、市民たちの熱狂的な見送りを受け平壤を出発しました。正恩氏が乗り込んだのは北朝鮮の特別列車です。」

磯田雄大（報告）「金正恩党委員長を乗せたとみられる列車が今丹東をでています。」

ナレ「平壤を出発した特別列車は中朝国境の町丹東を通り、今日午前、中国部館を通過したと見られます。ベトナム・ハノイまでの道のりはおよそ 4500 キロ。飛行機であれば三時間半ほどですが、列車では二日以上かかる距離です。北朝鮮の外交シーンで度々登場する特別列車、社内は白を貴重とした内装で壁には大型のモニター。電話のようなものもあります。」

磐村和哉（共同通信社平壤支局）「防弾車両仕立てになっていまして非常に厚い鉄板が埋め込まれています、ですから非常に重量があります、したがって最高速度も六十キロ前後までしかでない、と、こういうふうに言われています。」

ナレ「去年 6 月にシンガポールで行われた第一回米朝首脳会談、このとき正恩氏が乗ったのは飛行機でした、機体には AIRCHINA のロゴが。なぜ今回正恩氏は飛行機ではなく列車を選んでんでしょうか。」

磐村和哉「まあ中国との関係をアピールをする、中国としてはですね、この安全な運行のために在来線を止めたり規制したりしないといけません。そこまで中国が配慮をして北朝鮮を押し立てているんだ、という姿をアメリカに見せたい。」

ナレ「しかし北朝鮮からベトナムまでそのまま列車で乗り入れることができるのでしょうか。実はベトナムの線路にはある特徴があるんです。」

森岡紀人（報告）「ベトナムの線路は 3 ホなり、内側の幅一メートルの線路は国内用、その外側にあるのは中国からの列車が乗り入れるためのものなんです。」

ナレ「中国まではレールが 2 本、ベトナムに入るとレールが 3 本になります。ベトナムの列車は中国に比べて幅が狭いためレールが一本追加され中国の列車も走れるようになっています。その歴史はおよそ半世紀前にさかのぼります、ベトナム戦争時、中国は北ベトナムを支援するため列車で物資を運んでいました。3 本のレールはその名残と見られます。そして、あす、正恩氏が到着するとみられるのが中国との国境にあるベトナム、ドンダンです。」

報告「今、鉄道のスロープにレッドカーペットが敷かれました。」

ナレ「正恩氏は、ここドンダンで特別列車を降り会談場所のハノイには車で移動すると見られます。」

曾根英介（報告）「ハノイ中心部の広場では金正恩党委員長の到着を前にパブリックビューイングの準備が進められています。」

ナレ「中国との国境を越え、間もなくベトナムへと入る正恩氏、その道程は実は祖父である金日成主席の足跡をたどる旅でもあるんです。」

ナレ「1958 年にベトナムを訪問した正恩氏の祖父、故金日成主席。当時のホーチミン国家主席と会談を行うなど両国は古くから友好関係にあります。祖父、金日成氏に姿かたちもよくてきたように見える正恩氏。」

磐村「風貌が非常に似ています。それだけでも北朝鮮国民には非常にアピールする部分もあるんですけども、さらには、金日成主席が積み重ねてきた外交の歴史、これを今回のベトナム訪問で重ね合わせることによって、カリスマ性をより高めよう、という狙いがあるのではないかと。」

ナレ「今回、正恩氏はホーチミンが眠るホーチミン陵も視察する可能性があります。」

"ナレ「一方のアメリカ、トランプ大統領、間もなくハノイに向けて出発する予定です。」

トランプ大統領「スピードは求めない、しかし制裁は解除しない。非常に面白い2日間になるだろう。」

ナレ「非核化交渉がどこまで具体的に進むかが最大の焦点ですがアメリカのポンペオ国務長官は今回で全てが終わらず、再び首脳会談が必要になるかもしれない、と大幅な進展がない可能性に含みをもたせました。」

ナレ「いよいよあさってに迫った米朝首脳会談、どんな話し合いが行われるのか、注目です。」

また、VTR を承けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返し広げられていた。

"雨宮塔子「首脳会談の開催地がベトナムに決まったことでのアメリカと北朝鮮、それぞれの思惑ってというのはなんですか。」

星浩「そうですね、開催地の力関係が反映してしまっていてね、一回目はシンガポール、これはアメリカとの関係がいい国ですからね、アメリカがそこを提案して、北朝鮮が乗ってきた、北朝鮮はどうしても首脳会談やりたかったですからね、一回目。乗らざるを得なかった。今回はですねベトナムは、やっぱり北朝鮮はベトナム共産党との関係いいですからね、ある意味では北朝鮮のホームグラウンドでもありますんでね、そこにアメリカが乗らざるを得なかったっていうのがアメリカの苦しい所かもしれませんね。」

駒田健吾「ただ、あのポンペオ国務長官はもう早くも再び会談が必要になるかもしれないということをいって、今回の会談でどこまで成果が出るんでしょうか。」

星浩「まあなかなかね、制裁解除まではいききれないという観測もでてますし、なかなか今回、具体的などころまで詰めきれない。となると次、第三回ということなんでしょうけど、アメリカがやっぱりどうしても押し込まれて譲歩せざるを得ないという状況で首脳会談を迎えるという感じですよ。」

このトピックについて当てられた時間は 479 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・不正統計問題：結論→他の放送日との合わせての判断が必要

不正統計問題が国会で取り上げられたことについて報じられた。

このトピックについて当てられた時間は 129 秒で、VTR では以下に朱記したように

小川淳也（立憲民主党会派衆院議員）「総理、まずこのメール、お読みいただきましたでしょうか。」

安倍総理「あの、私は読んでおりません、ざっと説明を受けております。」

"ナレ「野党側が取り上げたのは統計の調査方法を巡って厚生労働省の担当者が有識者会議の座長に送ったメールです。」

メール「検討結果等については官邸関係者に説明をしている。」

ナレ「野党側は賃金の数値が上振れすることとなった調査方法の変更に総理官邸の意向が強く働いたと追及しますが。」

中江元哉（前首相秘書官）「私がなにか悪いこと、不正なこと、をしたわけではないということをこの際はっきりと申し上げたいと思います。総理の指示を受けずに各省庁から説明を聞いて議論する中で個人的な考えを伝えたということでありまして、。」

ナレ「安倍総理とは関係なく、個人的な考えを伝えただけだ、と反論。」

"ナレ「安倍総理も、」

安倍総理「いわば私が関与したということはまったくないわけでありまして、それはもう極めて明確になってい

るじゃありませんか、むしろ極めて明確になっているんですよ、これは決してですね、アベノミクスを上振れさせるためのものではない。」

小川淳也「秘書官の行動は総理の意向と受け取るのが普通で、今中江さんがおっしゃったように、仮に秘書官の一存なら総理の監督責任が問われる、」

ナレ「野党側は引き続き統計問題で政府の責任を迫る方針ですが、与党側は来年度予算案の今週中の衆議院通過を目指しています。」

今回の質疑では立憲民主党会派による迫りのみが取り上げられており、他の放送日と合わせての判断が必要と考えられる。

・日露関係：結論→特に問題なし

ロシアのラブロフ外相は安倍総理がこの問題を巡って、私とプーチン大統領の手で必ず終止符を打つ、などと繰り返していることに疑問を呈したことが報じられるとともに、ラブロフ外相の「(安倍首相が) どこからその確信を得たのかわからないプーチン大統領も私もそのような発言につながる根拠は日本側に与えてない。」という発言が取り上げられていた。このトピックについて当てられた時間は 39 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・沖縄の県民投票

立憲民主党の枝野代表といえば、菅直人政権において内閣官房長官に加えて沖縄北方担当大臣を兼務していた人物であり、その意味では普天間から辺野古という路線を担った人物のひとりでもある。

また、民主党政権が連立相手であった社民党とたもとを分かった理由も沖縄問題への対応や見解の相違からだった。

こうした過去については枝野氏を始めとした元民主党の議員たちはどのように折り合いをつけ、整理しているのだろうか、気になるところである。

いずれにせよ、政権交代可能な二大政党制は第一党が政権をとっても、第二党が政権をとっても実現できない政策というものを炙り出す作用もあるが、それは二大政党ブロックが自分たちが与党のときにできなかったことについても認めることが必要であろう。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年2月26日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：米朝首脳会談、即位 30 年の茶会</p> <p>地震調査委員会が東北地方太平洋沖の地震発生確率を新たに公表</p> <p>イギリスの EU 離脱問題、警視庁一課が Twitter アカウントを開設</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談 ・渋谷区の児童擁護者施設刺殺事件 ・広島での強盗殺人で手配中の男が東京方面に逃走中か ・外国人講談師の挑戦 ・即位 30 年の茶会 ・地震調査委員会が東北地方太平洋沖の地震発生確率を新たに公表 ・イギリスの EU 離脱問題 ・スポーツ報道 ・23Today 米朝首脳会談 渋谷区の児童擁護者施設刺殺事件 講談社元編集自殺に妻殺害の罪で懲役 15 年休憩 千葉の工場に高齢男性遺体、警察は殺人と断定 警視庁一課が Twitter アカウントを開設 ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談：結論→特に問題なし <p>米朝首脳会談について以下に朱記したように VTR およびスタジオと現地との中継で取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「深夜 2 時半、静まり返る駅のホームに人影が見えます、JNN のカメラが捉えたのは北朝鮮の金正恩党委員長姿、ここはベトナムの国境までおよそ 200 キロのところにある中国南部の駅です。ベトナムへと向かう道中の一服でしょうか、真夜中に途中の駅に降り立った正恩氏、平壤を出発してから、3 日、旅の疲れからか、目を抑えるような仕草も。そして、タバコを啜え、光からマッチで火をつけます、近くで灰皿を差し出す女性、妹のヨジョン氏です。休憩を終えた一項は再びベトナムへ向けて出発しました。そして、七時間後、中国との国境にあるベトナムの駅に到着、正恩氏はリムジンに乗り込んだあと、すぐには出発せずに窓を開け、三分ほど集まった市民らに手を振りました。」</p> <p>報告「金正恩党委員長を乗せた車がやってきました。」</p> <p>ナレ「その後、首脳会談が行われる首都ハノイに向かった正恩氏。沿道ではおよそ 3000 人が出迎えたといいま</p>		

す。」 "

ベトナム市民 A 「会談が成功して皆に平和が訪れるといいですね。」

"ナレ「宿泊先のホテルでは女の子が出迎えます。」

金正恩党委員長「ありがとう、何歳なの？」

女の子「9歳になりました。」

ナレ「女の子に自ら話しかけ、この表情。ホテルではおよそ6時間滞在、夕方になると再びホテル周辺が慌ただしくなります。」 "

"星浩「金正恩委員長が宿泊先のホテルから出てくるところですね、これからベトナムにある北朝鮮の大使館に向かうようですね。」

ナレ「正恩氏は北朝鮮大使館を一時間ほど訪問し、再び滞在するホテルに戻りました。そして、つい先程、日本時間の午後11時頃、アメリカのトランプ大統領もハノイに到着しました。」 "

"一同「こんばんは」

雨宮塔子「明日から始まる二回目の米朝首脳会談、トランプ大統領もつい先程ハノイに到着しました。そしてその現地ハノイでは星さんが取材しています。星さん。」

星浩「はい、こちらハノイです。金正恩委員長はあちらのホテルに戻りまして、明日からの首脳会談に備えているというところです。トランプ大統領、今国内情勢非常に厳しい状況にありますので、なんとしてもこの首脳会談で成果を上げたい、そういう思惑から動き出した首脳会談ですけれども結果次第では東アジアの情勢に大きな変化をもたらす可能性があります。それは日本にも非常に大きな影響を及ぼしていきます。そうした観点から明日明後日こちらから詳しくお伝えしていと思います、一旦スタジオにお返しします。」 "

"雨宮塔子「明日からの首脳会談で最大の焦点となるのはやはり北朝鮮の非核化です、」

駒田健吾「八ヶ月前の首脳会談から一向に進展が見られない非核化、双方の溝をどこまで埋めることができるのでしょうか。」 "

"トランプ大統領「非常に素晴らしい首脳会談になるだろう、我々は非核化を求めている。」

ナレ「ハノイへの出発に先立ちこう述べたトランプ大統領。」 "

ナレ「去年6月に行われた首脳会談で朝鮮半島の完全な非核化への取り組みで合意したアメリカと北朝鮮、さらに去年9月の南北首脳会談、共同宣言には条件付きで寧辺の核施設廃棄など非核家に向けた内容が盛り込まれました。条件付きとは北朝鮮に経済制裁の解除を行うなどアメリカが総オスの措置を行うことです。一方アメリカはそれに応じず核施設のリストを提出するよう北朝鮮に要求。しかし北朝鮮はそれに応じず両国の実務協議は停滞していました。」

"ナレ「金正恩党委員長は今年、新年の辞で。」

金正恩「我々はこれ以上核兵器を作らず実験もせず使用もせず拡散もしないさまざまな実践的な措置をとってきた。」

ナレ「核兵器の製造中止に言及しつつも核兵器を手放す姿勢は見せず、実質的に核保有国としての立場をアピール。」 "

"ナレ「非核化に向けた具体的な道筋が見えないなか、今回の首脳会談を前にアメリカに譲歩の色が見え始めます。」

音声「北朝鮮が完全な非核化に応じるなら経済発展を実現させるために取り組む。」

"ナレ「北朝鮮に対する経済的な見返りを示唆。さらにトランプ政権で北朝鮮との交渉を行うアメリカ側の代表も。」

ビーガン北朝鮮担当特別代表（先月）「我々はさらなる進展に向け、同時並行で行動する用意がある。」

ナレ「同時並行とは交渉のそれぞれの段階で見返りをその都度与えるということでしょうか、北朝鮮が完全な非核化を達成したあとに見返りを与えるという原則を転換したかのようにもみえる姿勢です。日本を始め世界が注目する北朝鮮の非核化、米朝、両首脳は果たしてどんな答えをだすのでしょうか。」

"雨宮塔子「再びハノイの星さんに聞きます。星さん、金党委員長はどういう思惑で会談に望むのでしょうか。」

星浩「はい、北朝鮮の対応ではっきりしてあるのが2つありましてね、一つはですね、アメリカとの戦争は絶対に避けたいということ。もう一つはですね20発持っていると言われる核兵器を一気に手放すことは避ける、このことなんですね、その中でサラミを薄く切るようにその妥協案をちらつかせてアメリカから譲歩を引き出す、という作戦できているのですが、今の所作戦はかなりあたってきている。凶に乗っている、凶にあたっているという感じがします。」

駒田健吾「ということは今の所は北朝鮮のペースで進んでいるということですよ。」

星浩「そうですね、ここに来てですね、首脳会談の罨とも言える現象が起きているんですね。アメリカの実務担当をしているビーガン特別代表は20時間ほど北朝鮮の担当者と対談をしているんですけども日本側にビーガンさんが明かしたところによりますとですね、北朝鮮は協議が難航するとそれならいっそトップ会談で決着つけようという姿勢を示すんだそうですね、そのために細かい点、例えば核施設の申告だとか検証といった話を詰めようとするとなかなかつまらない、という状況が続いています。一方トランプ大統領は具体的な話は殆ど関心を示さないということにして、首脳会談頼みの交渉がですね、結果的に北朝鮮ペースを生んでいるという現状ですね。」

雨宮塔子「星キャスターは明日もハノイから中継でお伝えします。」

このトピックについて当てられた時間は569秒で放送法上は特に問題は見られなかった、

・即位30年の茶会：結論→特に問題なし

天皇陛下の即位30年に当たり皇居宮殿では今日、茶会が催されましたとのことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は109秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・地震調査委員会が東北地方太平洋沖の地震発生確率を新たに公表：結論→特に問題なし

政府の地震調査委員会が東北地方太平洋沖の地震発生確率を新たに公表し、今後三十年以内に東日本大震災のようなM9クラスの超巨大地震が発生する可能性についてはほぼ0%との予測の一方でM7クラスの大地震の発生確率については青森東方沖や岩手沖北部で90%程度以上、宮城沖で90%程度など非常に高い発生の可能性が示されたとのことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は54秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イギリスのEU離脱問題：結論→特に問題なし

NEWS23 週刊報告 詳細版

イギリスのメイ首相は先程「来月 12 日までに EU 離脱協定が議会で承認されなかった場合、合意なき離脱をするかどうか採決にかけ、これが否決された場合、来月 29 日の離脱を短期間先延ばしにするかどうか採決にかけ」と表明したとことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 29 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・警視庁一課が Twitter アカウントを開設：結論→特に問題なし

殺人事件などの操作にあたる警視庁の捜査一課が未解決事件の早期解決につなげるため Twitter の公式アカウントを開設し情報提供を呼びかけていて投稿は日本語の他に中国語やモンゴル語でも行われているとことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 19 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年2月27日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙</p> <p>※星キャスターは現地に</p>		
<p>検証テーマ：米朝首脳会談、不正統計問題、自民離党の田畑議員が議員辞職願</p> <p>インドとパキスタン間で緊張高まる</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談 ・不正統計問題 ・同性愛暴露後に死亡の一橋院生裁判の判決下る ・新井浩文容疑者が保釈 ・自民離党の田畑議員が議員辞職願 ・インドとパキスタン間で緊張高まる ・スポーツ情報 ・23Toady <ul style="list-style-type: none"> 米朝首脳会談 不正統計問題 広島強盗殺人事件の逃走犯が滋賀県で逮捕 児童施設長殺害で新供述 GAF A が優越的地位乱用か ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談 <p>米朝首脳会談について、以下に朱記したように VTR およびスタジオと中継のやり取りが取り上げられていた。</p> <p>ナレ「8カ月ぶりに行われた米朝首脳会談。キムジョンウン党委員長の話にトランプ大統領は、ほほ笑む場面も」</p> <p>キム党委員長「前回の首脳会談以降）不信と誤解があり敵対的な古い慣行が行く手を阻もうとしていたが私たちは克服し歩み寄って 261 日ぶりにハノイまで歩いてきました。今考えてみると多くの悩みと努力そして忍耐が必要だったと思います。今日会えて今回すべての人々が喜ぶ立派な結果が得られると確信していてそうなるように努力します。」</p> <p>トランプ「今回キム党委員長とお会いできて光栄です。1回目以上に大きな成功になると思います。北朝鮮には信じられないくらいの経済発展の可能性が 있습니다。私はそれが実現することを目の当たりにし手助けすることを楽しみにしている。」</p> <p>ナレ「通訳だけ同席させた会談はおおよそ20分行われた。その後、2人は側近を交えて夕食会に。」</p> <p>キム党委員長「私たちは30分の時間でとても興味深い話をたくさんした」</p> <p>トランプ「その会話はお金を払うに値する会話だった。」</p> <p>ナレ「2回目の首脳会談となった今回。今日の2人は対照的な動きを見せた。」</p> 		

ナレ「今、手を振りました。トランプ大統領、手を振ってくれました。」

ナレ「トランプ大統領は日中から精力的に外交日程をこなした。まずベトナムの最高指導者と会談。」

トランプ「ベトナムで首脳会談を行うことはとてもいいことです。ベトナムは一つの先例になりますから。」

ナレ「続いて、首相との面会に臨んだ。」

"グエン首相「大統領にご挨拶してね」

トランプ「会えてうれしいよ。ちょっと貸して。」"

ナレ「ベトナム国旗を受け取り、気さくに振る舞う。一方、キム党委員長は…」

星「こちらがキムジョンウン委員長が滞在しているホテルで今日はまだ外に出ておりません。いろんな報告をここで受けているところですね。」

ナレ「これはホテル内のジョンウン氏の様子。隣にはチェソンヒ外務次官が座り事前に実務者協議に当たってきたキムヒョク Chol 特別代表から報告を受けている。『労働新聞』は、米朝首脳会談を成功させるため接触状況を具体的に聴取したと伝えている。結局、ジョンウン氏は今日、首脳会談に臨むまでホテルから一步も出なかった。」

星「今回、恐らく会談の中身について相当、最後の最後まで詰めてトランプ大統領とどういふふうに向き合うかということは今、相当、頭の中でシミュレーションしているんだと思いますね。」

ナレ「そんな中、トランプ大統領に拉致問題を取り上げるよう求めている安倍総理は今日、改めて議論の推移を注視する考えを示している。」

トランプ「明日は忙しくなるから今日は短めの夕食になる。」

ナレ「首脳会談は明日、本格的に行われる予定で、非核化を巡る交渉がどこまで進むのか注目される。」

雨宮塔子「日本時間の今日午後8時半頃からいよいよ2回目の米朝首脳会談が始まりました。北朝鮮の非核化に向けた進展はあるのでしょうか。」

駒田健吾「現地には星キャスターとワシントン支局長の岩田さんがいます。星さん、岩田さん、会談の最新情報を伝えてください。」

星「20分ほど前、ちょうどあそこで夕食会が終わったところです。」

岩田「ご覧いただけますでしょうか、ホテルの前にグレーのテントがあるんですけど、あのテントのカーテンがさっと開いてそこから車列が出てきて私たちの前を通過していった状況でした。」

星「さて、中身の方ですが、最初、1対1、サシの会談が30分ほど行ったんですね。そこで何が話されたか非常に興味深いところですが、会談後にキムジョンウン委員長は私たちは、とても興味深い話をたくさんしたと発言してるんですね。これが何を指すかはっきりしないんですが、これまでの私たちの取材によると、非核化の大幅な前進というよりも、むしろ朝鮮半島の平和宣言とか終戦宣言とかそういった話がどんどん深まっていく可能性が出ているわけですね。」

岩田「まさにそのとおりで夕食会の冒頭でキム委員長が笑顔だったということが逆に心配なんですよね。アメリカで取材をしていますとトランプ大統領は非常に自分が世界の平和をリードしているという強い意識を感じるんですけども、専門家の話などを聞いてもトランプ氏は北朝鮮の核を完全に廃棄する平和ではなくて、核を持たれても使われない平和でそれでいいと思っているのではないかと。最低限、現状を維持していけばノーベル平和賞も見えてくると思っているのではないかと、そんな疑念を持たざるを得ないところがあります。」

星「このままですと、北朝鮮にとってはほんのわずかな妥協でかなり大きな成果が得られるという局面になりか

ねない状況です。その後には、経済支援も動き出す可能性が出ています。後ほど、また現地とつないでお送りします。」

駒田「本格的な会談は明日行われるわけなんです但其の論点をここで整理しておきましょう。まずアメリカが目指しているのは完全な非核化です。そして一方の北朝鮮が求めているのが経済制裁の解除、そして国交の正常化です。アメリカとしては当初、完全な非核化が終わってからこのような要求に応じていこうという方針だったんですがそれでは北朝鮮が反発して交渉が進まないということで方針を変えました。今回の会談を前に注目されているのが

同時並行というやり方なんです。これは何かと言いますと、非核化を少しずつでも進めながらその段階ごとに一定の見返りをこの北朝鮮に与えるという方法なんです。そして、今回の会談で議題になりそうな双方の要求としてはどんな具体例があるんでしょうか。アメリカとしては、まずは一部の核施設の廃棄ですとか、核兵器や施設のリストを示しなさいという要求なんです。対する北朝鮮ですけれども実質的な制裁緩和ともいえます外貨を獲得するための事業を再開しようという要求なんです。例えば韓国と進めてきたケソン工業団地の再開ですとか、北朝鮮の名所でありますクムガンサンの観光の再開とか、こういった要求をしてくるのではないかとされています。そして国交正常化の第一歩として大使館の代わりとして連絡事務所なるものの設置も要求してくるのではないかと見られてるんですね。こうしたお互いの要求にどちらがどこまで応じるかが焦点ですが首脳会談を前にしたここまでの駆け引きは、北朝鮮ペースで進んできた様子が浮き彫りになっているんです。」

トランプ「私の友人キムジョンウンにとつていまだかつてないものすごい未来が待っている。」

ナレ「今朝のトランプ大統領のツイート。ジョンウン氏を「友人」と呼び北朝鮮もすぐにベトナムのように発展できると呼びかけた。」

トランプ「ただし北朝鮮が完全に非核化をなしとげるなら。」

ナレ「その肝心の非核化への道筋が見えていない。去年6月に行われた前回の会談では完全な非核化で合意。当初、アメリカ側は経済制裁などの圧力を維持して非核化を迫り、制裁解除などの見返りは非核化の後に与える方針だった。しかし…」

キム党委員長「アメリカが一方向的に何かを強要しようとし依然として制裁と圧力に進むならば我々としても新たな道を模索せざるを得なくなる。」

ナレ「一方向的に非核化を迫られることを拒否する姿勢。非核化に向けた具体的な措置が何一つ決まらない中、アメリカ側が歩み寄る。」

ビーガン特別代表「トランプ大統領は圧力だけでなく見返りもしながら交渉するよう国務長官に指示しています。」

ナレ「非核化の後に見返りではなく、見返りを与えながら非核化を進めようという方針転換。アメリカは北朝鮮にどんな見返りを与えようというのだろうか。前回の会談では完全な非核化以外にもこんな合意があった。新たな米朝関係とは、敵対関係にある現在の関係を見直すこと。まずは大使館の代わりとなる連絡事務所をお互いに設置することなどが国交正常化へ向けた一歩と考えられている。平和体制の構築とは、休戦状態にある朝鮮戦争を終わらせること。終戦宣言を出すことなどが取りざたされているが、その場合、韓国に駐留しているアメリカ軍を撤退させるよう北朝鮮が要求すると見られる。では、一方の北朝鮮はこうした措置をアメリカから引き出すためにどんなカードを切れるのだろうか。米朝会談の後に行われた南北首脳会談で北朝鮮が提示したカードは複

数の核施設のうち、まずはヨンピョンの核施設を廃棄するというもの。ただし、そこにもさらなる条件があった。」

キムジョンウン党委員長「米国が信頼性のある措置をとり相応の実践的行動で応えるのであれば」

ナレ「核施設廃棄の条件としているのはアメリカによる相応の措置。北朝鮮が求めるのは連絡事務所の設置や終戦宣言だけではない。」

キムジョンウン党委員長「我々はケソン工業団地に進出した南側企業の困難な事情と民族の名山を訪ねたいとする南側同胞の願いを察し何の前提条件や見返りもなしにケソン工業団地とクムガン山観光を再開するための用意があります。」

ナレ「韓国企業が進出していたケソン工業団地やクムガン山観光の事業を再開すること。北朝鮮にとっては貴重な外貨獲得の手段で実質的な経済制裁の緩和となる。トランプ政権は非核化の前に制裁緩和という見返りも与えるのだろうか。」

ビーガン特別代表「非核化が完遂されなければ制裁は解除しないとは言いましたが相手が全てやるまではこちらが何もしないとはいっていません。」

ナレ「こうしたアメリカ側の姿勢について専門家は…」

磯崎教授「北朝鮮の応急に応じてトランプ大統領が出す可能性があるものとしてはやはり韓国との経済協力について認めてしまう。事実上経済制裁解除の段階的解除に入っていく。現実的にアメリカは譲歩しているということになりますね。」

ナレ「首脳会談が近づくにつれ、トランプ氏の言動もエスカレートしている。中には、日本にとって警戒すべき、こんな発言も。」

トランプ「今はミサイル実験もないし、核実験もない私は焦っていないし誰もせかしたくない。ミサイル実験や核実験がなければハッピーじゃないか。」

ナレ「新たな実験さえなければよいというのはアメリカにとっての理屈。アメリカまで届く長距離弾道ミサイルに核兵器を搭載する能力は未完成。さらなる実験を重ねて完成させなければアメリカにとっては脅威とはならない。一方で、日本に届く中距離ミサイルには既に核兵器を搭載する能力がある。例えば、もしトランプ政権が長距離ミサイルの廃棄だけで合意してしまえば、日本にとっての脅威だけが残ることになる。この点について星キャスターがアメリカ大使に質問すると…」

星「日本に届く中短距離ミサイルについては容認するのではという心配があるが？」

ハガティ大使「その懸念には及びません。米政府は日本を防衛する義務があるのは明確。」

ナレ「日本にとっての最悪のシナリオの1つは否定。ただ、アメリカ国内向けに外交成果をアピールしたいトランプ氏がトップダウンでどんな言質を北朝鮮に与えるかは予断を許さない。朝鮮半島情勢を巡る外交の表舞台からは蚊帳の外に置かれ続ける日本政府に打つ手はあるのだろうか。」

雨宮「再び現場から星さんです。アメリカ側の妥協が懸念されていますが日本の立場からはどう見たらいいんでしょうか？」

星「1つ、動きがあったんですね。日本政府の拉致問題の担当者が昨日、ハノイ入りしまして、北朝鮮側との接触を探っているんですね。しかし、日本政府の関係者によりますと北朝鮮の対応は非常にかたく、今のところ接触のメドはついていません。安倍総理はトランプ大統領を通じて拉致問題の解決を北朝鮮に働きかけてくれと言っておるんですけどこの問題の打開の糸口はまだ見えてこないという状況です。」

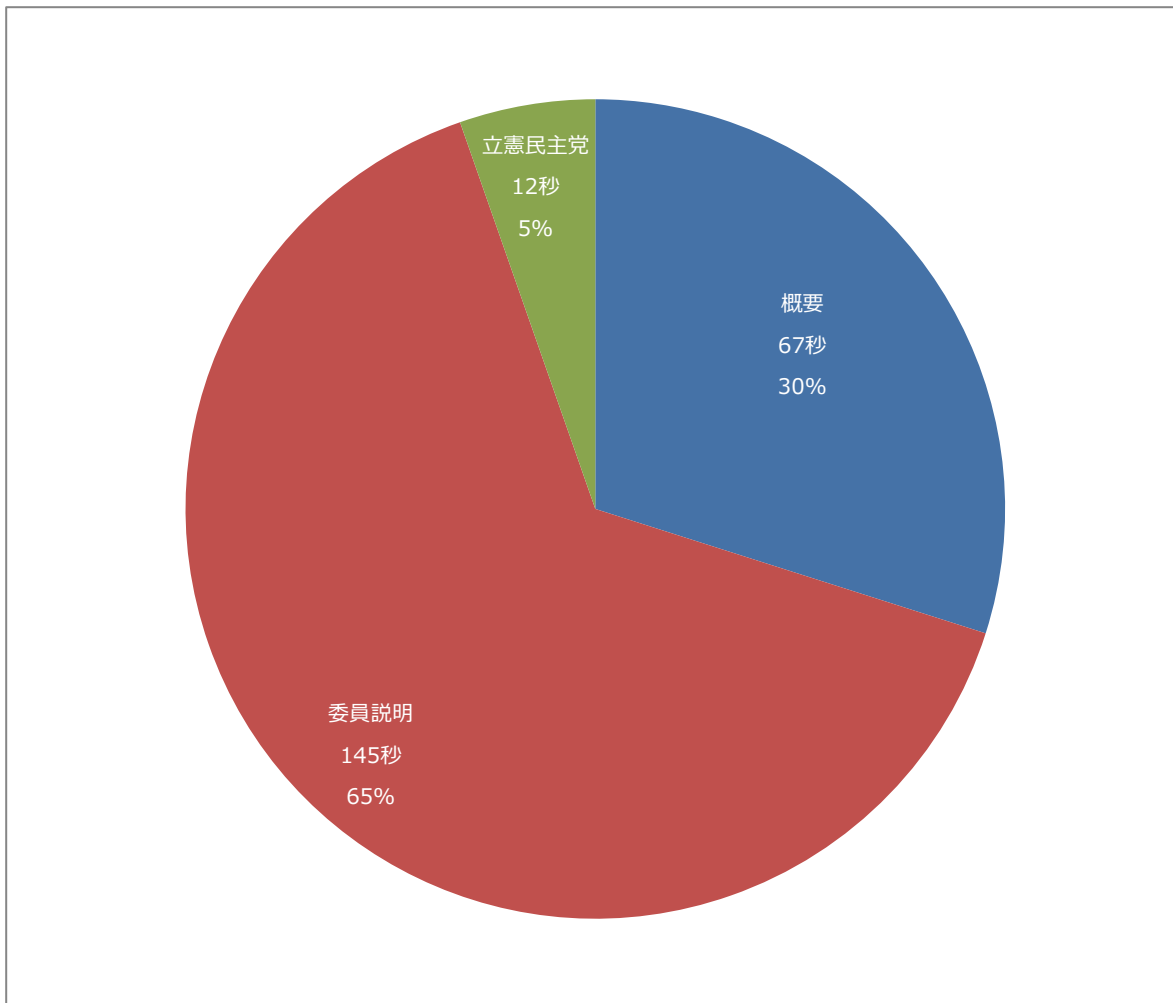
雨宮「日本が蚊帳の外に置かれてしまうという心配もありますね？」

星「そうですね、米朝で平和宣言のようなものがまとまりますとどういことが起きるかと言いますと中国と韓国が恐らく歓迎してくると思うんですね。それでアメリカの連絡事務所がピョンヤンにできれば中国の大使館はもともとありますし韓国はケソン工業団地に南北の共同連絡事務所を持ってるんですね。そうすると北朝鮮に窓口がないのは日本だけということになりまして、日本が外されるんじゃないかという流れになってくるわけです。ここは日本の外交もアメリカ頼みだけではなくて積極的に北朝鮮との接触を図るべきタイミングが来ていると思います。」

このトピックについて当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・不正統計問題：結論→他の放送日との比較が必要

不正統計問題について取り上げられた。このトピックについて当てられた時間は 224 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



このトピックでは以下に朱記したように VTR で取り上げられていた。

根本厚労相「厚生労働省の統計信頼回復や再発防止に向け行動をとる責任は厚生労働省長官の私にあります。」

ナレ「根本大臣に手渡されたのは、毎月勤労統計調査の不正に関する特別監察委員会の報告書。今回が2度目の

提出となった。1回目の報告書は不正の組織的隠蔽は認定できないと結論づけていた。しかし、職員のヒアリングに官房長が同席するなど身内調査だといった批判が上がり調査やり直しとなっていた。これを受け、今回は3人の弁護士による事務局を設置しヒアリングに幹部は同席しなかった。そして、今日発表された2度目の報告書。監察委員会は会見で組織的隠蔽についてこう説明した。」

樋口「隠ぺい行為があったとはいえないと判断した」

ナレ「組織的隠蔽については前回同様否定。一方で、抽出調査なのに全数調査であるとの嘘の説明が繰り返されたことを厳しく非難した。そして…」

荒井「虚偽の申述が隠ぺいにあたるかどうかどうかも隠ぺいにあたらないという判断。」

ナレ「今回の報告書で新たに登場したのがこの、虚偽申述という言葉。これに対し、記者から厳しい質問も…」

記者「隠ぺいがなかったという前回の結論を覆すことが出来ないから『虚偽申述』という言葉を作ってあてはめているのではと」

荒井「こう言う認定をしたという結果がここにかかっているということであってそれ以上の説明は私も難しい。」

ナレ「歯切れの悪い回答。野党からも批判が上がった。」

逢坂「隠ぺい行為って日本語で言ったら『隠す』ってことじゃないですか。今まで隠してるんじゃないですか。ひどい内容だ。身内に甘すぎる。」

ナレ「一方、去年から始まった新しい統計手法の導入に際し、当時の中江総理秘書官の関与があったのではないかとの疑惑については…」

樋口「統計学的にも十分な合理性が認められると判断したことから調査の対象とする必要性がないと判断した。」

記者「官邸の影響がなかったという観点では聞き取りを行っていない？」

樋口「はい。」

ナレ「野党は予算案の採決までに形だけ提出したという意図が明らかと反発を強めている」

今回は委員の説明を取り上げたシーンが中心で国会の議論は立憲民主党議員の発言が取り上げられたのみだった。政党の取り上げ方については他の放送日との比較が必要と考えられる。

・自民離党の田畑議員が議員辞職願：結論→特に問題なし

知人女性とのトラブルで先週に自民党を離党した田畑毅衆議院議員が衆議院議長宛てに議員辞職願を提出したことが報じられるとともに、田畑議員は知人の女性から暴行を受けたとして刑事告訴されていること、田畑議員の辞職は今週金曜日3月1日の衆議院本会議で諮られる予定であるとのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は28秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・インドとパキスタン間で緊張高まる：結論→特に問題なし

パキスタン軍は27日にインドと領有権を争うカシミール地方でインド軍の軍用機を撃ち落としパイロット2人を拘束したと発表したことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は19秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

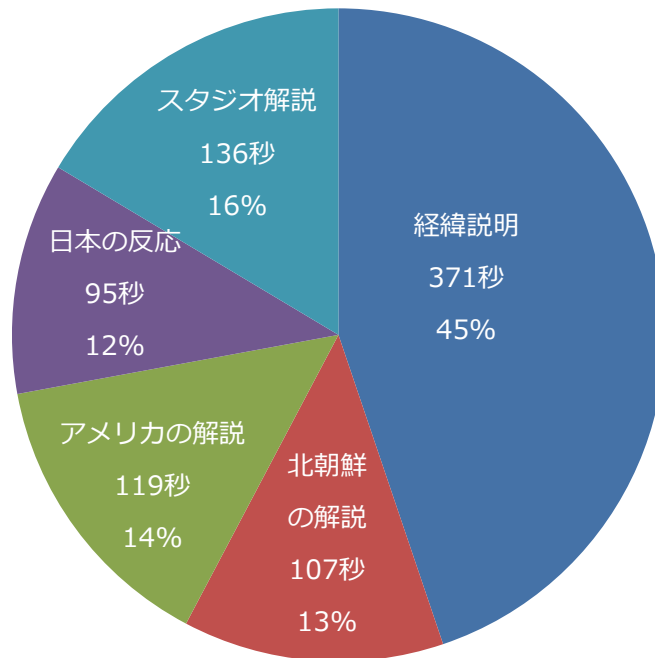
特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2018年2月28日
<p>出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙</p> <p>【ゲスト】小谷哲夫（明海大学准教授）、磯崎敦仁（慶応大学准教授）</p>		
<p>検証テーマ：米朝会談、トランプ大統領元顧問弁護士が証言、統計不正問題</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝会談 ・トランプ大統領元顧問弁護士が証言 ・統計不正問題 ・江東区で強盗事件 ・ゴーン被告3度目の保釈請求 ・スポーツ報道 ・23Today <p>米朝首脳会談</p> <p>トランプ大統領元顧問弁護士が証言</p> <p>路線バスが住宅に衝突</p> <p>「児童養護施設」施設長殺害</p> <p>安倍総理自宅横の家屋で火災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝会談→結論：放送法第四条第一項第四号に抵触 <p>今回は2回目となる米朝首脳会談について、決裂した結果とその過程について報じられた。今トピックにあてられた報道時間は828秒で、経緯説明・北朝鮮の解説・アメリカの解説・日本の反応・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容のうちスタジオでの報道は以下の通り。

雨宮「友好的なムードから一転、事実上の決裂となった今回の会談。一体何があったのでしょうか。専門家の方々と詳しくみていきます。駒田さん。」

駒田「はい。今日は一体何があったのでしょうか。スタジオにはアメリカ政治に詳しい小谷さんと北朝鮮情勢に詳しい磯崎さんに来ていただきました。宜しくいお願いいたします。そして、ボードには交渉材料になったであろうカードが並んでいるわけなんですが、まずは小谷さんに聞きましょう。アメリカ側は当初どんな戦略を描いていたのでしょうか。」

小谷「はい。アメリカにとっては非核化が何よりも大事ですので、ヨンビョンの核施設の廃棄を何としても取りたいという事で、ここにあるカードをパッケージで考えていたわけですが、その中でも北朝鮮は制裁の緩和が必要だろうという事で、人道支援などを出すことで核施設の廃棄と査察を取りたいと考えていたという風に思われます。」

駒田「人道支援ですとか外貨獲得の事業ですね。こういったカードを出す、出したのかどうかは分かりませんが、こういったカードを出してヨンビョンの核施設の廃棄を狙いに行ったという事ですね。」

駒田「磯崎さんはいかがでしょう。北朝鮮はどんな戦略を練っていたのか。」

磯崎「北朝鮮が明確にこういうカードがあるとかああいうカードを取りたいと言ったことはないんですが、今日のトランプ大統領の会見によりますと、全ての核を放棄する、完全な非核化、と釣り合う条件として完全な制裁の解除は釣り合わないという理由だったわけです。これを申し上げますと、シンガポールでは完全な非核化と体制の安全、安全担保が釣り合う形として合意していたわけですから、北朝鮮としては完全な非核化となれば国交正常化への道のりが欲しい訳です。決して経済制裁の解除だけではないという事だったと思います。」

駒田「という事は、北朝鮮が求めるものとアメリカが出してくるものが釣り合わなかったという事ですか。」

磯崎「結果的にはですけども、釣り合わなかったわけですね。」

駒田「ちなみにこのヨンビョンの核施設というのは北朝鮮にとってはどういう意味を持つものだったのでしょうか。」

磯崎「北朝鮮にとっては核問題というのは90年代からこれが中心だったわけですから、これを出せば相当大きなものを取れると考えていたのでしょうか。」

駒田「さて、小谷さん。アメリカはどこで見誤り、どこでタイミングを逸してしまったのでしょうか。」

小谷「アメリカとしては実務者協議を通じて北朝鮮の考えと自分たちの考えをすり合わせようとしてきたわけですけども、実務者協議の中でうまくカードをすり合わせようとしてきたわけですが、おそらくアメリカの考えというのは北朝鮮に伝わっていたんでしょうけれども、北朝鮮の考えを十分に聞き出すことが出来ていなかったのだらうとおもわれます。そのため、トランプ大統領と金正恩党委員長の会談がありましたが、そこで北朝鮮の考えを聞くという事があって、そこで初めて大きな差があるという可能性に気付いたという事ではないかと思えます。」

駒田「この実務者協議で出た差が気づくことが出来なくて、その溝を会談で埋めることが出来なくて決裂してしまったと。」

駒田「磯崎さんはいかがですか。なぜこのように決裂してしまったのか。」

磯崎「北朝鮮としては完全に想定外ですよ。今回、非常に異例と言えるくらい北朝鮮国内で今日も昨日も北朝鮮のテレビや新聞で金正恩党委員長の外交力、みたいなものを示していたわけですから、事実上何も手土産が無いままに帰ることになるわけですから、アメリカの事を、トランプ大統領の事を結果的には甘く見ていたことになるでしょう。」

駒田「分かりました。お二人には後程話を伺って参ります。」

雨宮「ここで再び現地ベトナムと中継をつなぎます。星さん。直前まではむしろトランプ大統領が前のめりだという声がありました。しかし、実際にはそうはなりません。その背景には何があったのでしょうか。」

星「はい。こちらハノイの外交筋によりますと、やはり焦点はヨンビョンの核施設でした。北朝鮮は実務者協議の中でもヨンビョンの核施設をどうするという話をしてこなかったんです。今回の首脳会談でもキム委員長は最終的な案は明日示すという話だったんです。そこで迎えた最終日だったわけですが、ヨンビョンの核施設を解体はするけれども、検証は明確ではない。さらに、ヨンビョン以外の核施設についてもほとんど提示する事が無かった。これでは飲めないというのがポンペオ長官の判断で、これをトランプ大統領に進言したところ、これは合意は見送ろうという結論になったというのが経緯ですね。」

雨宮「でも、トランプ大統領は会談の雰囲気は常にフレンドリーだったと盛んに言っていましたよね。」

星「そうなんです。フレンドリーだけではすまないのがこの種の交渉でして、ヨンビョンの核施設についても何十もチェックポイントがあるわけですね。そういうものを実務者協議で積み重ねなくてはいけないわけで、いきなり首脳会談でなんでも決着というわけにはいかない。今回の首脳会談でも、首位能会談頼みの交渉の落とし穴が露呈したという事だと思われませんか。」

雨宮「それでは、日本側はどう受け止めたのでしょうか。」

安倍首相「先ほどトランプ大統領と電話会談を行い、2回目の米朝首脳会談の結果の報告を受けました。私の拉

致問題についての考えを金正恩委員長に伝えて頂いたということでございます。」

横田早紀江さん「あんまり焦って変なところで妥協してほしくはないなと思っていたので、北朝鮮の要望にそのまま乗らないで留まってくださったことは私は良かったと思っています。」

雨宮「会談ではトランプ大統領が拉致問題にも言及したそうですが、磯崎さんはどう見ていらっしゃいますか。」

磯崎「拉致問題については、今回の会談で北朝鮮とは首脳会談においても非常に解決に向けて進めるのが難しいのはよくわかっている。それでも日本人の人権とか日本人の生命にかかわる問題は、日本政府が主導的に動くべき問題であり、そのきっかけを作ってくれたという認識でよいのではないかと思います。」

駒田「安倍総理は今度は自分が向き合う番だという話もありました。そういう意味では変わってくるのでしょうか、情勢は。」

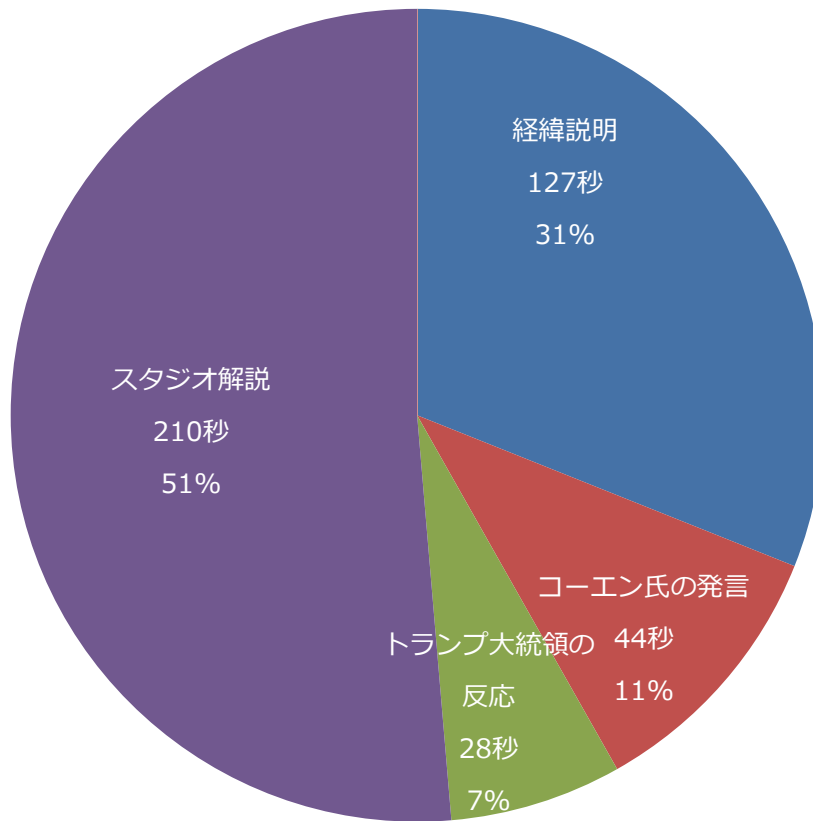
磯崎「北朝鮮が日本の呼びかけに誠実に答えるか。そして、逆に日本も積極的に不可逆的に対話によって解決していく意思があるかどうか。そこがうまくかみ合っていくかなかなかスタートできていないですけれども。」

報道の中で駒田キャスターは「さて、小谷さん。アメリカはどこで見誤り、どこでタイミングを逸してしまったのでしょうか。」と発言している。この発言は今回の米朝首脳会談がアメリカの失敗であると印象付ける内容である。しかし、実際は識者のうちの一人が発言している通り北朝鮮にとっても誤算がある内容であった。会談の結果は双方に成果と課題があるという内容であったにもかかわらず、このような印象を与える発言は議論をアメリカの失敗という方向にしか導かない発言である。アメリカと北朝鮮の両方の専門家を呼び、それぞれの狙いを解説させる番組の構成は公平に感じられるが、駒田キャスターの発言によって議論の方向性が限定されてしまったと言える。

今回は放送法第四条第一項第四号「意見が対立している問題に関しては、できるだけ多角的に議論をすること」に抵触するものといえる。

- ・トランプ大統領元顧問弁護士が証言→結論：放送法第四条第一項第一号に違反。

今回はトランプ大統領の元顧問弁護士がアメリカの下院公聴会においてトランプ大統領について証言した内容とその影響について報じられた。今トピックにあてられた報道時間は 409 秒で、経緯説明・コーエン氏の発言・トランプ大統領の反応・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

雨宮「またちょっと、米朝のことに話が戻っていきますが、決裂しました。しかし、トランプ大統領の頭の中はもしかたらこのことで一杯だったのかもしれない。あの疑惑をめぐって、まさになげつぐちに立たされているんです。」

ナレーター「首脳会談のさなか、アメリカではトランプ大統領の足元を揺さぶる出来事が起きていました。27日に開かれた議会下院の公聴会です。証言に立ったのはマイケル・コーエン氏。トランプ氏の元顧問弁護士です。長く腹心とされたコーエン氏が口にしたのは猛烈な非難の言葉でした。」

コーエン氏「彼は人種差別主義者で、詐欺師で、いかさま師です。」

ナレーター「トランプ氏に頼まれ、人を脅したとも。」

女性議員「トランプ氏から脅しをかけるよう何回ほど頼まれましたか？」

コーエン氏「沢山です。」

「50回?」「もっと。」「100回?」「もっとです。」「200回ほど?」「それ以上です。」「500回ですか?」「それぐらいです。」

ナレーター「コーエン氏はいわゆるロシア疑惑などで議会に虚偽の発言をした罪で有罪判決を受けています。ロシア政府がサイバー攻撃で入手したとされる民主党のクリントン陣営のメール。そのメールが暴露されることを

トランプ氏が事前を知っていたと初めて暴露しました。」

コーエン「トランプ氏はその影響について『素晴らしいじゃないか。』と答えていました。」「さらに」(ナレーター)「不倫関係のポルノ女優に金を払い、彼の妻に嘘をつくように頼まれた。」

ナレーター「トランプ氏が不倫関係にあった女性に対して、大統領就任直後に口止め料を払ったことも明らかにしました。一方のトランプ大統領、公聴会に先立ち、ベトナムからコーエン氏をけん制していました。」「彼は自分の刑期を短くするために嘘をついている。」(トランプ大統領)「そして、今日の会談後の会見でも公聴会についての質問が。」

"記者「あなたの下で10年間働いていたコーエン被告がうそつき、詐欺師、人種差別主義者と呼びましたが。」

トランプ大統領「それは正しくない。このような非常に重要な首脳会談のさなかに嘘を耳にすることになるとは全くひどい話だ。」"

ナレーター「今後、トランプ大統領への疑惑追及の声が一層高まりそうです。」

雨宮「トランプ大統領はかなり追い込まれている印象ですが、小谷さん。このトランプ大統領の崖っぷち感がベトナムでの言動に影響を与えた可能性はあるでしょうか。」

小谷「直接的に、これが会談につながったというのは言いにくいんですけども、例えば首脳会談をやっているときにアメリカ人のプレスがこのコーエン証言について質問して、その後ホワイトハウスがアメリカのプレスを夕食会から追い出すということをしていたので、相当イライラしていることは間違いないと思います。ただ、それが交渉に直接影響を与えたとは言えませんが、今後のトランプ大統領の政治的基盤が揺らぐということであれば、北朝鮮だけではなくほかの国もトランプ大統領の足元を見てくるということはあると思います。」

雨宮「ここでベトナムの星さんにも聞いてみたいと思います。星さん、アメリカに議会の動きは米朝の交渉に何らかの影響を与えたのでしょうか。」

"星「実は北朝鮮もコーエン問題でトランプさんの足元が揺らいでいますので、それほど大きな譲歩をしなくてもトランプさんが乗ってくるのではないかと見ていたところがあるんです。実際にはトランプさんはここであまりにも安易な妥協をすると、何で妥協したんだという逆風が吹きかねないという判断をして合意を見送ったということもありまして、その点ではこのコーエン問題は北朝鮮にとっても誤算につながったという点もあると思います。」

雨宮「日本はアメリカ頼みだったわけですが、決裂となると日本にとっても影響は大きいですね。」

星「北朝鮮の核問題というのは日本の安全保障にとって非常に深刻な問題なんです。ですからこれは、拉致問題を含めて日本はこの地域のプレーヤーとして動いていかないと外交は動いていかないと、全体の問題は進行していかないとすることは今回の首脳会談を通じて、我々が学び取ったことだと思います。こちらからは以上です。」"

"雨宮「最後に今後の見通しと注目点をお二人に伺いたいんですが、まずは磯崎さん。」

磯崎「今回のことが大きな流れとして北朝鮮にとって一つの教訓となり、それを乗り越えるような動きが出てくれば良いのですが、そうでない可能性もある。それは今後の動きを見ていかななくてはならない。特に北朝鮮が明日、明後日で今回のことをどう報じるか。さらに少し進んで、北朝鮮がアメリカに対してどういうメッセージを發してくるか、公に。それは注視していかなくてははいけませんね。」"

"雨宮「小谷さん。いかがでしょうか。」

小谷「今日は会談は決裂したでしょうけれども、両者の関係が破綻したとは言えないと思いますし、北朝鮮もアメリカも交渉を続けることに利益を見出していると思いますから、首脳会談をすぐにとというのは無理でしょうから、実務者協議、あるいは閣僚級協議を時間をおいて始めるということは十分考えられると思います。」

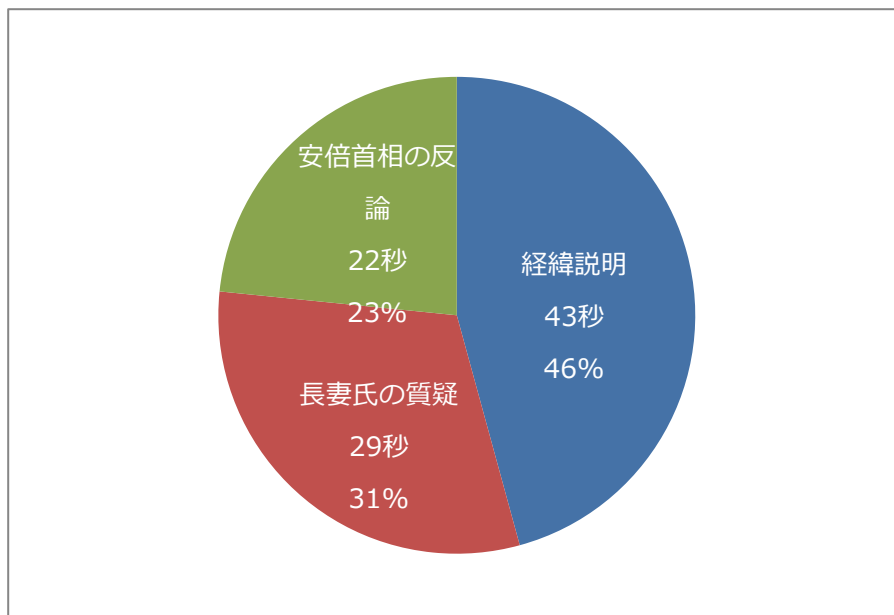
雨宮「磯崎さん、小谷さん今日はありがとうございました。」

まず、報道ではトランプ大統領の元顧問弁護士を「コーエン氏」と呼称していた。しかし、テロップでは「コーエン被告」と出ていることが確認された。「コーエン氏」と呼称し続けることでコーエン被告の立場に誤解を与えかねない内容であった。例えば、日産の元会長ゴーン氏については視覚的にも聴覚的にも「ゴーン被告」で統一されている。視覚と聴覚でどちらが記憶に残りやすいかは個人差があるだろうが、コーエン氏が裁判において有罪判決を受けているという事実から考えて「コーエン被告」として統一されるべきである。

これは事実誤認を与えるもので、放送法第四条第一項第一号「報道は事実を曲げないですること」に違反している。

- ・統計不正問題→結論：放送法第四条の観点から問題なし。

今回は国の機関統計で不正があった事件に関して野党が政府を追及する内容が報じられた。今トピックにあてられた報道時間は94秒で、経緯説明・長妻氏の質疑・安倍首相の反論に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

駒田「国会では昨日公開された統計不正問題の追加報告書をめぐり、野党側が安倍総理を追求しました。」

長妻昭議員（立憲民主党）「総理は昨日出た追加報告書を読まれましたか。」

安倍総理「私も大変忙しいものですから詳細は読んでおりませんが、概要については説明を受けております。」

ナレーター「安倍総理が読んでいないとした追加報告書。虚偽の説明はしたが、組織的な隠ぺいはしていないとする中身について、野党側は激しく反発しました。」

長妻「ギリシアも統計の問題が発端で経済危機が起きました。これを甘く見てはいけないと思います。こんな

NEWS23 週刊報告 詳細版

いい加減な報告書を出して終わりというのは・これは国家の危機になりかねないという認識はおありですか。」

ナレーター「安倍総理は再発防止に向け責任を果たすとしたうえで。」

安倍総理「ギリシアの状況と日本は全く違う。国家の危機では全くない。そういういかにも不安をあおるような議論は止めたほうがいいのではないかと思う。」

ナレーター「と反論しました。与党側は明日の来年度予算案の採決を提案しましたが、野党側はこれを拒否。根本厚労相の不信任案の提出を検討するなど採決をめぐる攻防が激しくなっています。」

時間配分を見ても比較的公平な内容で、報道内容についてもそれぞれの答弁の様子を報じているに留まっており、誤解を与える内容ではないと判断した。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感
特になし。

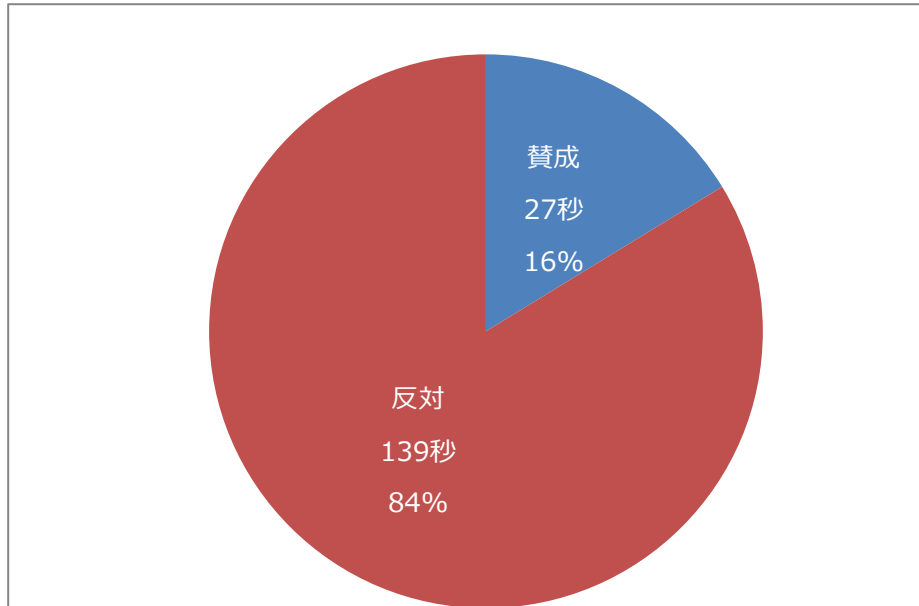
NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年3月1日
出演者：星浩、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：米朝首脳会談、沖縄県民投票、三一独立運動の記念式典に1万5000人、来年度予算案衆院通過へ、貿易交渉巡り USTR が期限延長を正式発表、脱北者支援団体が臨時政府発足を発表		
報道トピック一覧		
<ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談 ・3件の強盗事件で直前にアポ電 ・沖縄県民投票 ・三一独立運動の記念式典に1万5000人 ・来年度予算案衆院通過へ ・就職活動が本格スタート ・セブンイレブンが24時間営業見直しへ ・舞踊家の花柳幻舟さんが死亡 ・スポーツ情報 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 米朝首脳会談 3件の強盗事件で直前にアポ電 貿易交渉巡り USTR が期限延長を正式発表 宝塚音楽学校で卒業式 脱北者支援団体が臨時政府発足を発表 ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
<ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談→結論：放送法第四条の見地からは問題なし <p>ベトナムのハノイで行われた米朝首脳会談についての報道。北朝鮮側は制裁解除について現在禁止されている水産物の輸出や石油輸入制限について解除を求めたものの米国との合意には至らず物別れになったことが伝えられていた。このことについて明海大学の小谷哲夫教授は「アメリカからすればこれこそがまさに制裁のコアの部分。実質全面解除に近いということでトランプ大統領は全面解除を求めてきたという言い方をしたんだと思います。他方で、北朝鮮からすれば国民の生活に直結する部分に関して制裁の緩和を求めているんだということで、部分的な緩和を求めたにすぎないという言い方になっている」と述べていた。また今後の北朝鮮の出方についてコメンテーターの星浩氏は「論理的には3つの選択肢があると思うんです。まず強硬路線に戻って核ミサイル開発をもう1回進めるんだということ、もう1つは、逆に非核化を劇的に進めていくという2つありうんですが、これは2つともなかなか難しく2つ目、核施設の解体を小出しに進めていって、アメリカの譲歩を引き出す、今までの路線を進めていくということに結局は落ち着くんですよ。そうすると韓国、中国も巻き込んだこの話し合い、協議がどうも相当また時間がかかってくるということだと思いますね。」とコメントしていた。この</p> 		

トピックスは 430 秒伝えられ特に問題点は見当たらなかった。

- ・ 沖縄県民投票→結論：放送法第四条第一項二号に抵触のおそれ

辺野古移設の県民投票を受けて沖縄県の玉城知事が総理官邸を訪れたことについての報道であり報道時間は 461 秒であった。同報道において辺野古移設に肯定的な意見を賛成。否定的な意見を反対として集計したところ以下のような賛否の時間および比率となった。



玉城知事は「総理はこれまでも県民の民意に寄り添うと度々発言をしてらっしゃいますし、県民投票結果を真摯に受け止めると今般発言をなさいました。その言葉が総理の本心であるということであれば今回の県民投票における沖縄県民の思いを真正面から受け止めていただき工事をただちに止めるという行動で表すことで示していただきたい。」と述べていたのに対して安倍総理は「県民投票の結果については真摯に受け止めながら一つ一つ負担軽減に向けて結果を出していきたい。普天間は、世界で最も危険な基地と言われており、もはや先送りにすることはできない。」と返答していた。

また県民投票に呼応する形での総理官邸前におけるデモの様子も報道され「辺野古はやめてほしいという民意が示されたのにひどすぎるじゃないですか。」「ここから先は僕ら本土が頑張らなければいけないんです。僕らにバトンがきましたから。」といったデモ参加者の声が伝えられた。一連の報道を受けてコメンテーターの星浩氏は「安倍総理は辺野古はノーだという沖縄の民意に対して普天間の危険性除去はどうするんですかという問いかけをするので、どうも議論がすれ違うんですよね。ですから、こういう問題提起に対して真摯に応える、向き合うということがないものですから、今度の県民投票が本土に突きつけた問題提起に対して正面から応えることができているという状況が続く感じですよ。まずは、言葉を尽くして説明することから始めてみてはとも思うんですけどね。」とコメントしていた。

報道全体として否定的な意見が大半を占めており統計的に公平な報道がなされていたとは言い難い報道内容であった。伝えられたインタビューの対象も辺野古反対デモの参加者という限られた対象であり多角性も有していたとは言い難く放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること」に抵触する恐れがあると結論する。

NEWS23 週刊報告 詳細版

・三一独立運動の記念式典に1万5000人→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

日本による朝鮮半島統治に抵抗して起きた三一独立運動から100年がたち韓国で記念式典が行われたことに関しての報道。報道では式典に際しての文在演大統領の「力を合わせて被害者の苦痛を実質的に癒すとき韓国と日本は心が通じ合った真の友人となるでしょう。」といった演説の様子が伝えられた。しかしこの演説について東京国際大学の伊豆見元教授は「未来志向で手を取り合い、いい関係を作ろうということも特に熱心ではない。韓国が被害者の治癒を友人になるための大前提条件においている限り簡単に日韓関係が好転することは期待できない。」と解説していた。この報道は248秒伝えられ特に問題点は見当たらなかった。

・来年度予算案衆院通過へ→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

衆議院予算委員会において野党側が反対する中で与党側が来年度予算案の採決に踏み切り可決されたことについての報道。野党側は厚生労働省の統計不正問題などへの対応が不誠実だなどとして今朝、根本厚労大臣の不信任決議案を提出したものの衆議院本会議で与党などの反対多数で否決されたこともあわせて報じられていた。このトピックスは58秒で特に問題点は見当たらなかった。

・貿易交渉巡り USTR が期限延長を正式発表→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

中国との貿易を巡る交渉についてUSTR＝アメリカ通商代表部が1日だった交渉期限を延長すると正式に表明したこと日手の報道。トランプ大統領は米中首脳会談での最終決着に意欲を示していて今後、知的財産権の侵害など残された課題を巡る詰め協議が行われる見通しと報じられていた。同報道は23秒で特に問題点は見当たらなかった。

・脱北者支援団体が臨時政府発足を発表→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

マレーシアで殺害されたキムジョンナム氏の息子、キムハンソル氏ら家族3人を全な場所に移動させたとする脱北者支援団体、チョンリマ民防衛が臨時政府の発足を表明したことについての報道。同団体は団体名を自由朝鮮に変更。北朝鮮は、人道主義に反する膨大な罪を犯したなどと批判し脱北者らに連帯を求めたことが伝えられた。このトピックスは29秒で賛否が分かれる点や問題点は見当たらなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックスの報道内容要旨

特になし

検証者所感

とくになし